

全校朝会（日光と地震）

2018. 9. 10

6年生に、移動教室の思い出を聞きました。

今、6年生にインタビューしたように、先週の月曜日から水曜日まで、6年生と日光移動教室に行ってきました。台風が来ていることが心配でしたが、天気予報で言っている台風の進むコースにあまりずれがなければ、ほとんど計画どおりにできるだろうと思っていました。雨で足湯に行くことがはできませんでしたが、予定になかった室内レクもできて、とても楽しい思い出ができました。学校に帰って来たときに6年生には伝えたのですが、一人一人が楽しい3日間にしようと考えて行動したこと、男女の区別なくみんなで仲良くできたこと、注意し合ったり協力し合ったりできたこと、クラスで1つにまとめることができたこと、話を聞いたりけじめをつけたりすることを頑張ったことがとても素晴らしかったです。私は「何度見ても東照宮はやはりすごいな。」「東照宮のガイドさんの三猿の話が印象的だったな。」「これだけの建築物をつくった徳川の力は大きかったのだな。」「本で調べただけではこのすごさは分からないな。」と思いました。

日光の3日目の朝、地震がありました。奥日光は震度2だったのですが、けっこう揺れて起きてしまった人がけっこういました。幸い被害がなかったので、6時の起床までもう一度寝た人もいました。でも、日光の宿舎に着いて避難訓練をしておいて良かったと思いました。

震度2でもすごく揺れたのですから、震度7だった北海道の胆振地方の地震の揺れ方は想像できないほどだと思います。その後の余震もたくさんあり、震度4の余震が昨日までに4回もあったということなので、心がいつも緊張していて休まる暇がないだろうと心配になりました。学校にいる間や移動教室などたくさんの人といるのなら、話をよく聞いて行動すればいいのですが、今回の地震のように夜や早朝だった場合には、子供でも自分で判断して行動しなくてはなりません。自分の命は自分で守るという気持ち、状況を把握し判断する力が、みなさん一人一人に必要です。地震や川の氾濫、火事などの災害が起きた時に、どの方向に逃げるかはいつも同じではありません。逃げながらもうだめだと思うこともあるかもしれません。でも最後まであきらめないこと、生き延びることを考えて行動してください。失っていい命なんて一つもありません。

お父さんとお母さんとおばあさんを亡くした兄弟の「3人とも死んでしまったけれど、さっき土砂の中からはあちゃんが見つかったので、これで家族がそろいました。」と泣きながら言っていたニュースが忘れられません。何人かの人に「いつも、北海道のお料理教室をしてくれている人や北海道野菜の農家の人は大丈夫かな。」と聞かれました。今、連絡を取っているところなので、何か分かったらお知らせします。

「命」や「生きる」ということは、みなさん一人一人に、折に触れ考えてほしいことです。1日1日を大切に、今日も無事に終わることができたと感じ感謝する気持ちを忘れずに笑顔で毎日を過ごしましょう。

消防写生会の表彰をしました。